



NITTO INFORMATION



VOL.33

愛知産業大学工業高校
110周年記念館 (橋校舎1号館)
(平成29年3月竣工)
名古屋市中区 鉄骨造3階建
延べ床面積/3009.71㎡

特集

アーチ/クロスヴォールトによる
樹状構造の建築

トピックス

宅配ボックス設置部分の
容積率規制緩和



URL <http://www.nitto-kensetsu.co.jp> ISO9001/14001認証取得





アーチ/クロスヴォールトによる樹状構造の建築

愛知産業大学工業高校110周年記念館

設計コンセプト

名古屋市内の伝統ある工業高校の校舎建て替え工事の本物件は、江戸時代からの歴史ある地域であり東別院の森につながる立地にあります。そのため「木立に囲まれたフィールドのような、リズム感ある空間」を設計コンセプトとしました。

今回の工事は体育館の機能とともにシンボルとなる講堂としての役割も求められました。鉄骨による枝状の構造で、軽やかに屋根を支えながら、分散したトップライトと照明が木漏れ日のような光を提供してくれる空間をめざしました。舞台に立つと木立の空間の奥に空と森を望むことができます。校舎の敷地は江戸時代「橘座」と呼ばれた著名な芝居小屋のあったところといわれ、舞台はその記憶をも継承できればと思います。音をなるべく外に漏らさないようにすると同時に、東別院の森と境内の風景を借景として取り込みつつ、高校生のアクティビティを街の賑わいとして表出させたいと考えました。

(意匠設計 宇野総合計画事務所 宇野勇治 宇野みき)



木漏れ日のメインアリーナ



その構造は？

メインアリーナの構造は、隣接する東別院の森の木々と呼応するよう「樹状構造」による大空間としました。鉄骨トラスを用いた樹状アーチのイメージは、枝のように分岐した柱が広域の荷重を集めるため、アリーナとして効率良い構造となり、より自然で冗長性のある構造形式となっています。また、1階部分にはアンボンドブレースを用いたエネルギー吸収機構を設け、地震後も使い続けることを想定し設計しています。

土の表情と職人の手仕事

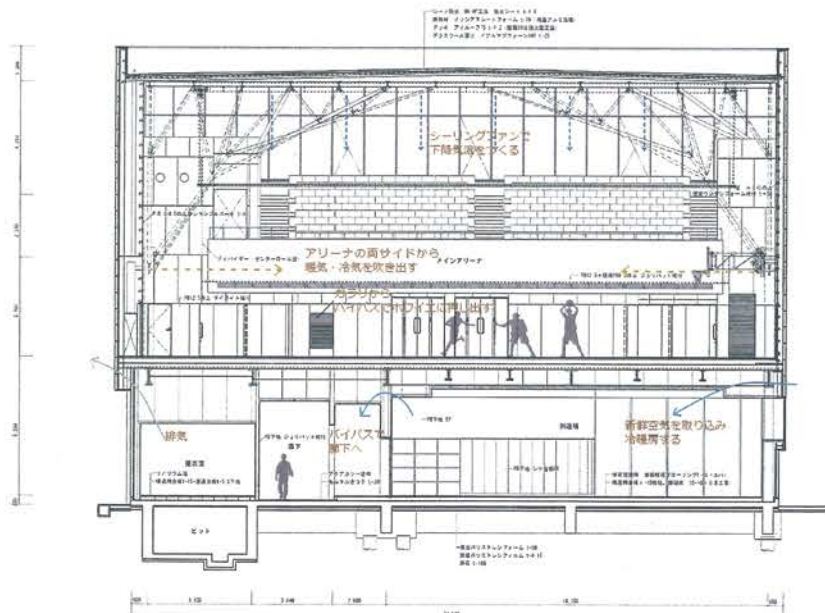
東別院の森と街を見下ろすホワイエ。土の地面のない都市部の学校にホッとできる土の表情を作るため、美しい掻き落とし仕上げの壁を左官 挟土秀平(職人社 秀平組)にお願いしました。職人の手の跡や息遣いが感じられるゆらぎのある壁は、気持ちを緩やかにしてくれます。



ベジェアーチが繰り返される抽象的な廊下空間、洞窟のよう



左官:挟土秀平(職人社 秀平組)



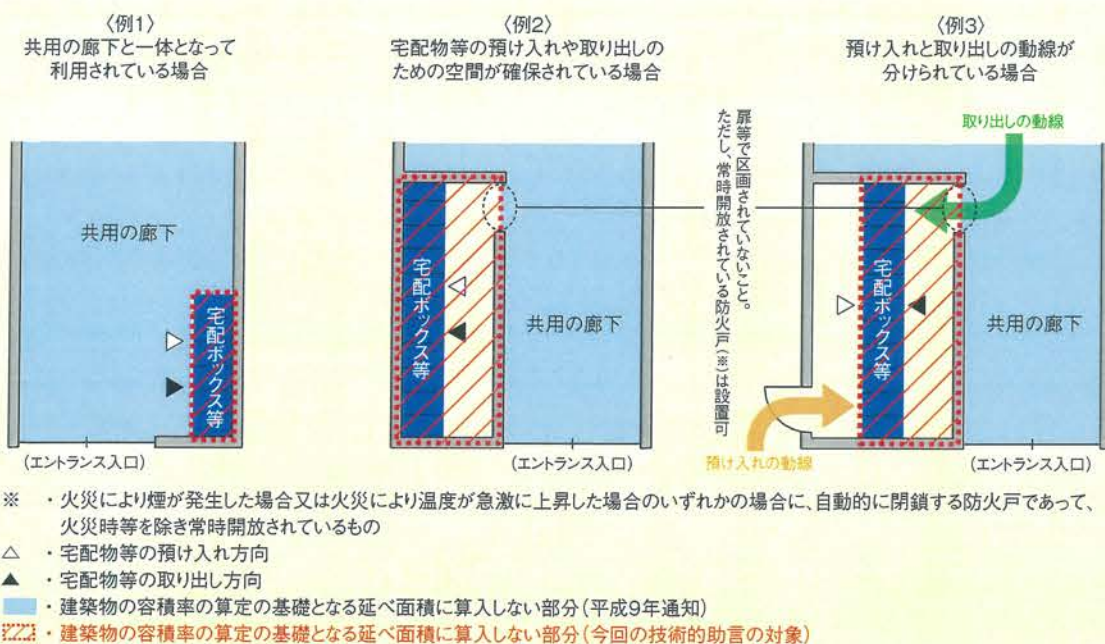
トピックス

宅配ボックス設置部分の容積率規制が緩和されます

国土交通省は11月10日、不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックスを共同住宅の共用廊下に設置した場合は、延べ床面積の算定から除外するよう明確化すると発表しました。宅配ボックス設置を促し、住民の利便性向上と物流業者の負担軽減につなげることが狙いです。

宅配ボックスの設置促進は再配達の減少につながることから、働き方改革の実現や物流生産性革命の推進のためにも重要になります。

今後も、国土交通省は共同住宅以外の建築物も含め、宅配ボックスの設置促進に向けて宅配ボックス設置部分の現状調査を行い、さらなる施策を講じることも検討していくとしています。



「外断熱」に関する情報は、日東建設のホームページでご覧いただけます。
(URL <http://www.nitto-kensetsu.co.jp>)
またパンフレット及びビデオも用意しておりますので、気軽に企画開発担当者まで申し付け下さい。



伝統を軸に未来へ

株式会社 日東建設

TEL(052)321-5501(代表)